



自ら学び、進んで行動する

キラリと光る励徳っ子

第43号

R5.3.9発行

文責 永田 功臣

ラストスパート ～卒業・進級に向けて～

<卒業式練習>

卒業式に向けて、卒業する6年生と送り出す在校生のそれぞれで、練習を行っています。来週からは、全体で動きの確認を行う予定です。



そのような中、今週から砥用中学校の野村先生に来ていただいて歌唱指導をお願いしています。式当日の伴奏もされる予定です。専門分野での指導等、中学校には大変お世話になっています。これからも連携を深めていきたいと考えています。

<地区児童会>

8日(水)には地区児童会を行いました。今年度の反省と来年度登校班への新入生受け入れ準備を行いました。1年間登校の様子を見てきましたが、5、6年生が低学年に声をかけながら、安全面に気を付けたり、

地域の方への挨拶やお礼の言葉の言い方などをしっかりとリードしてくれました。新年度になっても、1年生に対して優しく接してあげてください。



ランチルーム給食を行いました

3日(金)に久しぶりのランチルーム給食を実施しました。今週9日(木)には、その一環で6年生の思い出作りとして、バイキング給食も行っています。コロナ禍以前の活動が少しずつ再開できていることをうれしく思います。



全校児童で活動することによって、他の学年の様子に分かり、高学年は使命感、低学年は安心感につながります。給食の時間も和気あいあいとした雰囲気の中にも他学年の刺激があり、いつもより食べる時間が短くなった子もいました。

そういう励徳小学校ならではの「良さ」をさらに生かして、子どもたちに自信をつけさせたいと思います。



私の大切にしたい「励徳フライド」

～中学校進学・最高学年進級に向けて～

ぼくが大切にしたい励徳フライドは「あいさつ」＋「自分から行動」です。
なぜなら、来年は、登校はんのはん長になるので、登校はんみんなが地いきの人たちにあいさつ出来るようになるので、自分からあいさつをしたいし、高学年として自分から行動したいからです。
そのために、ふだんから友達や先生、地いきの人にあいさつをしたいです。自分から行動するためには、まわりを見て今何をしたらいいのか考えて行動したいです。

五年 島田 惇史

私が大切にしたい励徳フライドは、「あいさつ」＋「行動力」です。
なぜなら、考えることはできているけど、それを実行に移すことはまだできていないと思うからです。できるようなるために、日ごろから思ったことは実行するというを意識して過ごします。

五年 黒田 那月

人にもよりますが、行動に移すことは、なかなか難しいものです。そこで、このように文字で気持ちを表現したり、人前で宣言したりします。

- ①手伝い
- ②発表
- ③あいさつ

より効果をあげるためには、具体的に「何をどうするか」を伝え、最後に「～します」と言い切るというです。来年度の6年生も期待が持てそうです。

ちよこっとサイエンス

春らしい天候になってきましたが、いい天気とは裏腹に花粉症に悩まされている先生方や子どもたちがいます。



なぜ、アレルギー反応が起こるのか。個人差は。昔は・・・。いろいろと疑問に思うことが出てきますが、今回はその話ではなく、スギも人間も生きるためにはたらきであるということを考えてほしいと思います。

植物は自由に素早く動くことはできません。そこで「精細胞」を運ぶ手立てとして、軽い花粉をつくり風力を使っているのです。中には、花や蜜などで動物を呼び寄せ、運んでもらう植物もいます。一方、人間は花粉を体外から入ってきた異物とみなして、くしゃみ、鼻水、涙等で体外に出すしくみがはたらきます。どこかで折り合いをつけないければなりません・・・。